

コロナ禍でも力強い支援を 新潟県自衛隊家族会理事会等支援



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）は、2月6日（土）新潟市の「新潟東映ホテル」において実施された新潟県自衛隊家族会（会長 早川澄男氏）理事会等を広報室長（1陸尉 鈴木勝太）以下4名で支援しました。

理事会は県事務局長（上越地区協議会長）横澤順仁氏の司会により、議長に指名された早川会長の挨拶から始まりました。そこで早川会長は「今年度は新型コロナウイルスの影響により家族会としての活動・支援が大きく制限を受けたが、次年度はこの様な状況の中でも対策を講じ、できる限りの支援を行っていききたい。コロナに対する医療支援に際しても感染者を出すことなく任務を完遂した自衛隊を見習い、我々も勇気をもって事業に臨みたい」と力強く述べられました。



続いて、今年度の事業成果報告等がなされた後、質疑応答において来年度の家族支援及び各種広報活動への支援等について話し合われました。各会長からは「艦艇や音楽演奏を呼ぶにはどのような調整が必要か」などの質問が寄せられ、それに対して広報室長、広報次長が対応し、日程調整や関係自治体への協力要請等、必要事項の説明を行いました。

午後からは意見交換会が行われ、主に今年度中止となった入隊・入校激励会について意見が交わされました。その中で、コロナ禍においても入隊・入校予定者に激励を行う方法として、各地区の地域事務所等と連携し、個別に激励品の贈呈やメッセージを手渡しするなど、様々な方法が提案されました。

新潟地本は、今後も各協力団体との連携を緊密にし、困難な状況下においても一致団結して克服できるよう、広報業務に邁進していきます。